

氏名：田野佑典 修士課程1年

国際会議名称：OptoElectronics and Communications Conference

開催日：2018年7月2日～2017年7月6日

場所：ICC Jeju, Korea

### 発表内容

発表形式：ポスター形式

発表日：2017年7月5日

発表時間：60分

発表タイトル：Evaluation of high alcohol concentration using a 1.7- $\mu$ m band near-infrared spectroscopy system using multi-mode optical fibers

今回の国際会議では、1.7 $\mu$ m帯の近赤外線を用いて新たに開発したアルコール濃度評価系を高濃度アルコール飲料に適用させ、従来よりも高い精度でアルコールの濃度評価を行うことができたので、評価結果と開発した評価系の有用性について発表した。

### 会議参加の感想

私は、今回初めて国際会議へ参加させてもらい非常に多くの経験ができたと思っている。国際会議自体が初めてだったので、英語できちんと発表内容を伝えられるのかどうか、また質問対応も英語でやり取りできるのかどうか非常に不安であった。ポスター発表自体は2日間の開催で自分の発表は2日目だったため、1日目のポスター発表の様子を予め見ることができたのは幸いであった。せっきくの機会なので他の人がどのような発表をしているのか見て回った。自分の専門分野とかけ離れた内容は無いものの、自分と似たようなテーマはほとんど無かったため特に質問をしたりはしなかったが、どうせならもっと積極的に参加すべきだと思った。ただ、多種多様な専門分野の発表に触れることができ自分の今後の研究の参考になったと思う。

ポスター発表2日目、長いと思っていた発表は思っていたよりあっという間に終わった。予想よりも多くの質問を頂いたので非常に有意義な時間を過ごせたと思う。予想通りの質問もあれば盲点を突かれたような質問も頂きとても参考になった。残念ながら外国人からの質問は無かったので英語で対応するという機会は得られなかったが、日本語であっても説明することの難しさを感じた。聴者に自分の伝えたいことを最大限伝えるためにはどのようにして話せばいいのか常に考えながら発表していたように思う。日本語でさえ苦労したので、英語だったら果たしてうまく対応できたのかと自分の英語力の低さを間接的に体感した。

今回の国際会議を通して非常に多くのことが学べたと思う。この会議を通して学んだこと、体感したことを今後の学生生活や研究活動に活かしていきたいと思う。